

第15回 羽曳野市 図書館を使った調べる学習コンクール 審査結果について

令和7年11月
羽曳野市教育委員会

◆募集期間 令和7年9月1日(月)～9月30日(火)

◆応募者総数 1704人

◆応募作品数 639点

個人作品部門

(小学生の部 低学年: 12点 中学年: 229点 高学年: 317点)

(中学生の部 中1～3年: 51点)

協働作品部門

(小学生の部 低学年: 5点 中学年: 13点 高学年: 3点)

(中学生の部 中1～3年: 9点)

◆受賞者氏名等(敬称略)

大賞(教育長賞) 西浦小学校 5年 宮井 音々
小麦からひろがるおいしい世界

優秀賞 古市小学校 2年 南野 花太
かにがしんじゃった

優秀賞 高鷲小学校 3年 大岩 優月
人形じょうりについて

優秀賞 埴生南小学校 3年 三宅 唯月
作曲の仕方 メロディとコードの順番でどうかわる?

優秀賞 高鷲南小学校 6年 松村 佳奈
不思議な「深海」のなぞにせまる!!
～深海とそこにすむ生物について～

優秀賞 高鷲小学校 5年 鈴木 円花
アライグマ発見!! ～どうしてこんなところにアライグマが?～

学校賞 西浦小学校

※ 上記のほか、佳作として20点が選出されました。

※ 大賞を含む優秀賞作品(6作品)は、全国コンクールへ出品します。

◆総 評

第15回 羽曳野市図書館を使った調べる学習コンクールには、1,704名、639点もの意欲的な作品をご応募いただきました。取り組んでくださったすべての皆様、そして熱心にご指導くださった先生方に、心より御礼申し上げます。

本コンクールの重要なねらいは、「調べて考える楽しさ」を知っていただくことです。今年も、「なぜだろう」「知りたいな」という探究心を大切に、意欲的に取り組んだ作品が数多く寄せられました。関連資料の収集、情報の取捨選択、そして自ら見学や実験等を通して得た新しい発見を、自分の言葉でまとめ表現している作品が高く評価されました。作品には、ご家庭や学校図書館司書の方、公共図書館など、学校や地域ぐるみで取り組んでいる温かい連携を感じました。

世の中には情報があふれていますが、大切なのはそれを収集し、常に考えながら取捨選択し続ける力です。図書館資料を活用し、体験を通じて得た喜びや驚きを表現する学習は、まさに現代社会で求められる学びです。

学校におかれましては、多くの児童・生徒の参加を支えていただき、心より感謝申し上げます。特に学校賞を受賞された西浦小学校のように、学校全体で調べる学習を推進する姿勢は、他校の模範となります。

図書館を活用した調べ学習の経験は、『主体的・対話的で深い学び』に直結しています。「学び方」が重要視される今、図書館の持つ「学習・情報センター」としての機能を一層活用し、各学校園においても読書活動と調べる体験を融合させた学習を推進していただくことを期待しております。

【表彰式の様子】

